

第1号議案

特定非営利活動法人 高次脳機能障害サポートネットひろしま

2019年度事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

1、事業の成果

高次脳機能障害者と家族に対し、相談会を県下5カ所で実施していることもあり、地域の福祉施設や行政の相談窓口へも繋がりができて、福祉サービス窓口への連携と理解が広がっている。また相談会に地域拠点病院の担当者が参加することで、地域支援センターが家族にとって頼れるところになっている地域もある。福祉サービス事業では、2019年度に障害福祉サービスの報酬改定がありB型事業の報酬単価は、前年度の一人あたりの平均工賃月額によって決まることになった。このため、2018年度の工賃による2019年度の報酬単価は、一番低いものが適用された。また、就労移行支援事業の報酬単価は、前年に一般就労の後、半年定着した利用者の人数によって決まる。2018年度は、一般就労後半年間定着できた利用者が一人もいなかったため、就労移行支援事業の報酬単価も大幅に下がり、事業収入が激減した。一般社会への啓発活動においては、法人主催での講演会は備後地区のみで、広島市や廿日市は市との協働開催になっているため、啓発活動が行政の協力で実施できるため効果があった。

2、事業内容

特定非営利活動にかかる事業

(1) 高次脳機能障害および家族への支援に関する事業

【相談支援事業】

決算 742,184 円

場所・日時	内容
廿日市相談会	廿日市記念病院やJA総合病院からの紹介で来られるケースもあった。 グループでの対応だけでなく、個別での対応により福祉サービスへ繋がったケースもあった。
日 時	毎月第3木曜日 10:00～12:00
場 所	廿日市総合福祉センターあいプラザ
受 益 者	当事者家族延べ人数 55名 医療等関係機関42名（廿日市記念病院ST, MSW, メープル法律事務所） 個別相談4件
広島市中区相談会 (広島市高次脳機能 障害支援事業)	広島市の委託を受けて実施している家族相談会 生活相談：専門家と家族体験者がグループ形式で実施している。 参加した家族のそれぞれの悩みや対応法を話し合いながら、参加したみんなで解決策を考え、お互いの学びとなっている。 個別相談：生活での対応法、交通事故示談、福祉サービス利用について
日 時	毎月第2火曜日 生活相談：10:00～12:00（グループ形式で） 個別相談：13:00～16:00（予約制）

場 所 受 益 者	広島市中区地域福祉センター 5 階 当事者家族延べ人数 83 名 医療等関係機関 36 名（保健師、行政担当課、精神デイケア相談員、メープル法律事務所） 個別相談 27 件
呉 相 談 会	全体的な参加人数は減少しているが、初回参加者として、マッターホルンリハビリテーション病院の院長先生からの紹介の方が数名あった。
日 時 場 所 受 益 者	毎月第 4 木曜日 14:00～16:00 呉市つばき会館 当事者家族延べ人数 28 名 医療等関係機関 25 名（メープル法律事務所）
備後地区相談会	公立みつぎ総合病院のリハスタッフ、福山リハビリテーション病院の ST, OT, SW、も継続して参加している。
日 時 場 所 受 益 者	毎月第 2 金曜日 10:00～12:00 三原サンシープラザ 当事者家族延べ人数 96 名 医療等関係機関 56 名（みつぎ総合病院 OT, ST, SW, 福山リハビリテーション病院 ST, OT, SW, 太田記念病院 ST, OT, メープル法律事務所）
東広島相談会	参加者はいつも決まった人が多い。高次脳センターからの紹介で来られる人がいないのが残念である。
日 時 場 所 受 益 者	毎月第 3 火曜日 13:30～15:30 広島県立障害者リハビリテーションセンター 2 階多目的室 当事者家族延べ人数 61 名 医療等関係機関 31 名（広島県高次脳機能センター支援コーディネーター、メープル法律事務所）
実施成果	・全体的な参加人数が減っているが、新規の参加者数は大きく変わっていない。 ・広島市の個別相談は 2 件枠では不足、3 件受けることも多かった。 ・当事者家族参加延べ人数 323 名 ・医療福祉関係者延べ人数 190 名 ・個別 56 件

(2) 障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業

【クラブハウス・シェイキングハンズ】

チャレンジ（就労移行支援事業）

決算：22,562,085 円

内容	自分の障害と向き合い就労に向けて準備する場で、同じ障害を持つ人との交流を通して、障害の気づきや理解を深める。働くための基盤を整える。
事業日程	通年月曜～金曜 10：00～15：00
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	サービス管理責任者・就労支援員・生活支援員・職業指導員
受益者	定員 10 名 利用実人数 16 名
実施成果	一般就労 2 名 新規利用者 4 名 就労継続 A 型へ 1 名

ワークステージ（就労継続支援 B 型）

内容	利用期間の制限がないので自分のペースで自分に合った働き方を目指す。
事業日程	通年月曜日～金曜日 10：00～15：00
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	サービス管理責任者・生活指導員・職業指導員
受益者	定員 10 名 利用実人数 9 名
実施成果	就労移行支援（チャレンジ）へ 1 名 他の B 型事業所へ 1 名 入院、デイケア 1 名 リワークへ 1 名 新規利用者 0 名

(3) 就労支援事業（当事者工賃事業）

決算 1,731,091 円

内容	ベルテガーデン清掃、広島市就労支援センター内職 清掃作業はグループで実施。 内職作業は仲間とコミュニケーションを取りながら実施。 みかんの受注、発送手続き、シート剥がし、車の部品作業
事業日程	通年月曜日～金曜日 10：00～15：00
従事者	サービス管理責任者・生活指導員・職業指導員
実施成果	作業をグループで実施することで、仲間とのコミュニケーションの訓練になっている。また、一般社会での作業を模して、あいさつ、声かけ、作業の分担等を配慮し合うことを学んでいる。清掃作業を通してその人の能力を観察でき、時間経過による変化が分かる。 2018 年度より新たな工賃向上のための作業として、みかんの受注と発送手続き作業を加えたことで、当事者への工賃支払額がアップした。

(4) 高次脳機能障害者の一般社会への啓発活動及び広報活動に関する事業 決算 800,918 円

備後地域勉強会 2019 年 8 月 4 日 場所：本郷生涯学習センタ 参加者 80 名 主催：サポートネットひろしま	演題「高次脳機能障害 働いている当事者と家族と専門職の話」 第 1 部 講演 ①「高次脳機能障害とは」 講師：本多留美（当法人理事・広島都市学園大学 言語聴覚専攻科教授） ②「一応仕事をしているんですけど」 聞き手：本多留美 語り手：守下邦昭・守下潤子ご夫妻
協働講演会 第 2 回高次脳機能障害セミナー *2019 年 5 月 26 日 主催：中国新聞社 共催：いでしたクリニック・サポートネットひろしま 会場：広島市総合福祉センター 5 階 参加者：405 人	「高次脳機能障害者の幸せな生活を目指して」 ①「高次脳機能障害とは」 講師：近藤啓太さん（広島県高次脳機能センター） ②「注意障害について～日常生活への影響」 講師：宮下幸久さん（広島市立リハビリテーション病院） ③「退院後家族が何に困っているのか？」 講師：濱田小夜子（NPO 法人高次脳機能障害サポートネットひろしま） ④「高次脳機能障害と地域包括ケアについて」 講師：高原伸幸さん（中四国厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課） ⑤「高次脳機能障害デイケアの実際」 講師：井出下久登さん（いでした神経内科クリニック）
広島市高次脳機能障害講演会 *2019 年 10 月 5 日 主催：広島市 共催：サポートネットひろしま 会場：広島市総合福祉センタービッグフロント 5 階 参加者：86 人	演題：「働いている当事者と家族と専門職の話」 ①「事故からの再起・働き続けること・結婚すること」 佐藤雄一さん（当事者） 佐藤弘美さん（母親） 座長：濱田小夜子（サポートネットひろしま理事長） ②「一応仕事はしているんですけど」 守下邦昭さん（当事者） 守下潤子さん（妻） 座長：本多留美さん（広島都市学園大学言語聴覚専攻科教授）
損保助成事業 高次脳機能障害リハビリ講習会 *2019 年 11 月 9 日 主催：広島県高次脳機能障害リハビリ講習会	演題：「高次脳機能障害の理解と対応」 ①「認知コミュニケーション障害の気づき方、対応法」 講師：廣實真弓さん（平成帝京大学健康メディカル学部言語聴覚科教授） ②「高次脳機能障害を抱えるかたと家族への心理支援」

共催：サポートネットひろしま 参加者：204人 廿日市市と共催講演 第2回高次脳機能障害研修会 ＊2020年3月14日（予定） 会場：廿日市ウッドワンさくらびあ	講師：山舘圭子さん（栃内第2病院リハビリテーション部副部長） 演題：「あなたの運転は大丈夫？」 ー高齢者と高次脳機能障害者の自動車運転 講師：渡邊 修さん（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座教授） コロナウィルス蔓延のため延期
冊子・パンフレット	・「働いている当事者と家族と専門職の話」700冊（広島廿日市ロータリークラブ支援で作成） ・損保助成金「高次脳機能障害の理解と対応」作成700冊 ・ホームページでの情報発信

(5) 家族支援事業

（啓発・広報事業に含まれる）

家族交流会	毎月第2火曜日 中区相談会の後、13時～15時まで 場所：広島市中区地域福祉センター5階	参加者40名
日本高次脳機能障害友の会 代表者会議（東京）	2019年4月8日9日 厚生労働省、国土交通省に、出向き話し合う。	濱田・守下
広島パイロットウォーク	2019年10月6日	役員5名参加
高次脳機能障害地域ブロック会議 in 山口 場所：山口県総合保健会館	2019年10月12日 中国5県の拠点病院と家族会の会議と研修会 ①「山口県の現状と高次脳機能障害の基礎知識」 講師：兼幸浩史さん （山口県高次脳機能支援センター長） ②「当事者家族が主体的に生活を再構築するために」 講師：宮原智子さん（地域活動センターWAKABA） ③「社会的行動障害について」 講師：三村将さん （慶応義塾大学医学部精神・神経科教授）	濱田・守下・松田
日本高次脳機能障害友の会 全国大会 in 香川	2019年10月18日 全国運営委員会参加、交流会 2019年10月19日	濱田・守下・松田 当事者家族 9名

	講演会 ①「高次脳機能障害家族の介護負担感」 講師：渡邊修さん（東京慈恵医科大学リハビリテーション医学講座教授） ②「高次脳機能障害の画像診断について」 講師：畠山哲宗さん（香川大学医学部脳神経科） ③「臨床現場で見えてきたこと」 講師：河井信行さん（香川総合リハビリテーション病院福祉センター長） ④「これからの高次脳機能障害者を支えるしくみ」 講師：鈴木智敦氏 （名古屋リハビリテーション自立支援局長） シンポジウム 「本人の思いに沿った充実した生活に繋がった方への支援について」	
--	--	--

その他の活動事項

外部からの講師依頼	
社福）きぼうの職員研修会 2019 年 5 月～月 1 回 6 月～2 か月に 1 回 参加者：14 名 広島西医療圏推進協議会研修会 2019 年 4 月 27 日 主催：西医療圏訪問看護推進協議会 会場：JA 総合病院内 参加者：40 名 久井町・大和町地域包括ケア研修会 2019 年 6 月 26 日 主催：三原北部地域包括センター 会場：三原大和人権センター 参加者：60 名 大野浦病院職員研修 2019 年 12 月 11 日 主催：大野浦病院	内容：高次脳機能障害の基本から支援の仕方・考え方について 講師：藤原希恵（サポートネットひろしま統括支援員） 事業所職員さんの高次脳機能障害の対応法を学ぶため 演題：「高次脳機能障害、訪問看護支援に求めること」 講師：濱田小夜子 演題：「高次脳機能障害について」 「高次脳機能障害ってどんなこと？」 講師：本多留美（サポートネットひろしま副理事長・広島都市学園大学言語聴覚学科教授） 松田睦子（シェイキング・ハンズ副代表） 演題「高次脳機能障害の就労に向けての課題と支援」 講師：本多留美（サポートネットひろしま副理事長・広島都市学園大学教授）

会場：大野浦病院 参加者 20 名	藤原希恵（サポートネットひろしま統括支援員）
広島南区住民の会研修会 2020 年 1 月 30 日 主催：南区地域高齢者交流事業 会場：県健康福祉センター 1 階 参加者 20 名	演題「高次脳機能障害を知ろう」 講師：濱田小夜子

第 5 回高次脳機能障害全国事業所ネットワーク研修会 2019 年 1 2 月 21 日（土） 主催：岩手高次脳機能障害友の会イーハトーヴ 会場：岩手自治会館 参加者：70 名	基調講演：「ピアサポーターとの協働を目指して」 講師：四ノ宮美恵子さん （国立障害者リハビリテーションセンター非常勤講師・公認心理師） ワークショップ「体験から学ぶ対応法」 講師：山館圭子さん（栃内第二病院 公認心理師） ・午前中は事業所管理者会を開催した。今の福祉制度の問題点や高次脳機能障害に合わない事での運営の難しさなどを話し合った。
--	---

令和元年度 賛助会員・ご寄付いただいた皆様（敬称略、五十音順）

寄付

川原義博 木本裕美 斉藤千賀子 篠原美子 本多留美 松田睦子
三上純子 山下千里 山下裕子 宮谷恵美子 濱田小夜子 安佐南区ダーナ献金
廿日市ロータリークラブ 友の会西方面 広島パイロットクラブ

賛助会員

緋田純一 鑑本智昭 稲田屋美子 岡本隆嗣 沖田啓子 甲斐野正之 梶田滋 川島悦子
川崎智宏 岸葉子 木本裕美 庄原八重 杉原勝宣 高上清人 高倉浩子 高先美絵
谷口勝子 寺田千秀 根石英行 野坂忠守 平岩満男 平口さとみ 日山元伸 広川洋子
渕由紀子 富士本京子 梶井綾子 松田健 三上純子 水谷恵美 百川晃 森井紀夫
山下美香 吉村友和 綿森淑子

団体賛助会員

いでした内科神経内科クリニック インパルスコーポレーション 社会福祉法人きぼう
広島メープル法律事務所 横田メンタルクリニック